

# COLORS, FUTURE! ACTIONS KAWASAKI 100th

2024年、川崎市は市制100周年をむかえます。

「暮らしてみたい川崎」のシンボルとなったまちづくり。

キッチンがステンレス。トイレは洋式。1960年に誕生した百合ヶ丘団地の建築デザインは当時の人々を魅了しました。都心に近く、緑ゆたかでモダンなまち。「暮らしてみたいベッドタウン」としての川崎北部のまちづくりは、まさにこの地域からはじまっていったのです。私たちの毎日も、きつとこの土地と歴史に刻まれていく。100年目の川崎市ではじまるColors,Future! Actions。このまちを発展させてきた人たちに感謝を抱きながら、未来の人たちへとつないでいく多彩なアクションを、さあいっしょに。

Photo / 麻生区 百合ヶ丘団地 川崎市市民ミュージアム提供 昭和41(1966)年頃



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

川崎市市制100周年記念

7区の歴史を振り返る



特設サイト

<https://www.city.kawasaki.jp/170/page/0000147126.html>

2024年、川崎市は市制100周年をむかえます。

その歴史を知るため、川崎市7区をぶらりと歩いてみました。

それぞれの区の昔の写真を手に、歩いて、見て、聞いて、感じて、発見したこと。それは今に至る100年の発展の理由でした。

あなたの住んでいるまちの昔を知っていますか？

過去にはこれからの100年先の未来を考えるヒントが、きっとあるはずです。

裏面では  
麻生区を  
ぶら歩き!

歩いて発見！  
知ってナルホド！

ぶら



## 豊かな里山と ベッドタウンの共存が 憧れの街を生んだ？

麻生区といえば憧れの新百合ヶ丘が思い出されますが、百合ヶ丘駅周辺に開発された百合ヶ丘団地の方が、憧れの街の先輩。豊かな里山を残しながら、ベッドタウンとして成長してきたこの街をぶら歩き。



便利な生活と  
豊かな自然の  
共存する街！

麻生区役所  
まちづくり推進部  
企画課  
市川恵理さん



案内人は  
この方

弘法の松

提供：菊地恒雄氏



1959  
カラー化写真



2022

初代の松は、火難に遭った後も約10年程残されていた。植え替えられた松の手入れ中の職人さんが教えてくれた。「植え替えの際には2本植え、いい方を残すということでした。これが残った方の1本です」

### 喜劇駅前シリーズの舞台にもなった 憧れの団地生活

ぶら麻生区② 百合ヶ丘団地

### 麻生区のベッドタウン化は 百合ヶ丘団地から始まった

ぶら麻生区① 百合ヶ丘駅

小田急線百合ヶ丘駅で下車し、南口から柳通りに出ると、川崎市内にだけ4店舗を構えるスーパーマーケット・ゆりストアの本店があった。

よく見ると、店舗建て替えのために2023（令和5）年1月15日から一時閉店という張り紙が（訪問したのは前年12月）。同店は百合ヶ丘駅が開業した1960（昭和35）年に創業。高度経済成長期からずっと、この街の人々の生活を支えてきたわけだ。

百合ヶ丘駅周辺の里山を切り拓いて住宅地として開発されたのは、1960（昭和35）年前後。発展の中心を担ったのが百合ヶ丘団地だった。地主らが日本住宅公団（現・UR都市機構）に約14万坪もの土地を譲渡し、近代的な団地が建設された。柳通りの弘法の松交差点までの間に第1団地、交差点の先に第2団地が造られ、駅やゆりストアと同じく1960（昭和35）年から入居が始まり、ニュータウンが生まれた。

百合ヶ丘駅の隣（小田原側）の新百合ヶ丘駅は、1974（昭和49）年の開業。百合ヶ丘駅には停まらない急行、快速急行、さらにロマンスカーの一部も停まる。駅周辺は2000年代に入って開発が進み、大型商業施設も次々とオープンしている。



百合ヶ丘駅前（左）とサンラフレ百合ヶ丘。百合ヶ丘団地建設の際に土地を提供した地主には優先して駅前商業地の土地が譲渡され、商店街が形成されていたという。半世紀経った今も駅前が落ち着いた雰囲気なのは、そうした経緯があるからだろうか。閑静な住宅街の趣が、駅周辺と団地から感じ取れる。

### 樹齢数百年の松は焼けてしまい 植え替えられた松が育っていた

ぶら麻生区③ 弘法の松

続いて弘法松公園へ。弘法とはいってもなく、弘法大師空海のこと。空海上人ゆかりの松を見るべく、標高118mの山を登った。さてどんな古木と対面できるのかと思いきや……。市川さんが言う。

「かつては高さ32m、幹回り7m、根回り11mもある樹齢数百年を越える黒松の大木がありました。県の天然記念物でしたが、1956（昭和31）年に火難に遭い燃えてしまいました。現在の松は2012（平成24）年に植え替えられたものです」

植え替えられた松はまだ若い。これからの成長が楽しみだ。公園

が連なる景色を見て、とても清々しい気持ちで坂を下ることができたのだ。

山頂は平坦で、ブランコやすべり台のある公園になっている。巨木が立っていた場所には「弘法松跡」という石碑が立つ。展望広場があって、近くは高尾山、そして蛭ヶ岳や塔ノ岳といった丹沢山塊が見え、さらにその先には富士山の姿も。



#### 弘法の松で仮面ライダーが？

東映生田撮影所が近いこともあり、特撮愛好家の間では仮面ライダーがショッカーの怪人と戦うシーンの撮影は弘法の松公園でも行われていたのでは？、とされている。

#### なぜ弘法の松と呼ばれる？

この地を気に入った弘法大師は「谷が100あれば寺を作ろう」と考えたが、99谷しかなく断念。帰るにあたって松の枝を差したところ、根が生え繁茂したなどの言い伝えがある。

麻生区トリビア



百合ヶ丘  
団地

提供：川崎市市民ミュージアム



1966

カラー化写真

#### 白黒写真カラー化プロジェクトとは

かわさきマイスターの印刷技術士・流石栄基さんにより、昔の川崎の白黒写真20作品をカラーで再現しました。プロジェクトはガバメントクラウドファンディングによって実現されました。



2022

団地は起伏のある里山を切り拓いて造られたので、随所に石垣がある。半世紀以上前に撮られた写真と同じ場所を探すと、石垣を参考にした。当時の百合ヶ丘団地には、上から見るとY字型をした建物もあった。ほぼ正方形の居室棟3棟がYの字型に結合しているもので、スターハウスと呼ばれていた。同じような建築が並ぶ団地の景観にアクセントを与える意味もあったといわれる。